

# 知的財産戦略に関する取り組み状況について

平成18年1月31日

農林水産省  
農林水産技術会議事務局



# 農林水産研究基本計画

平成17年3月

農林水産研究の重点目標実現に向けて、知的財産の創造、確保及び活用は重要な要素の一つ。

## 主なポイント

知的財産権の戦略的活用が必要

知的財産権の取得による研究成果の保護・活用にあたっては、経済社会の活性化に結びつける視点を重視

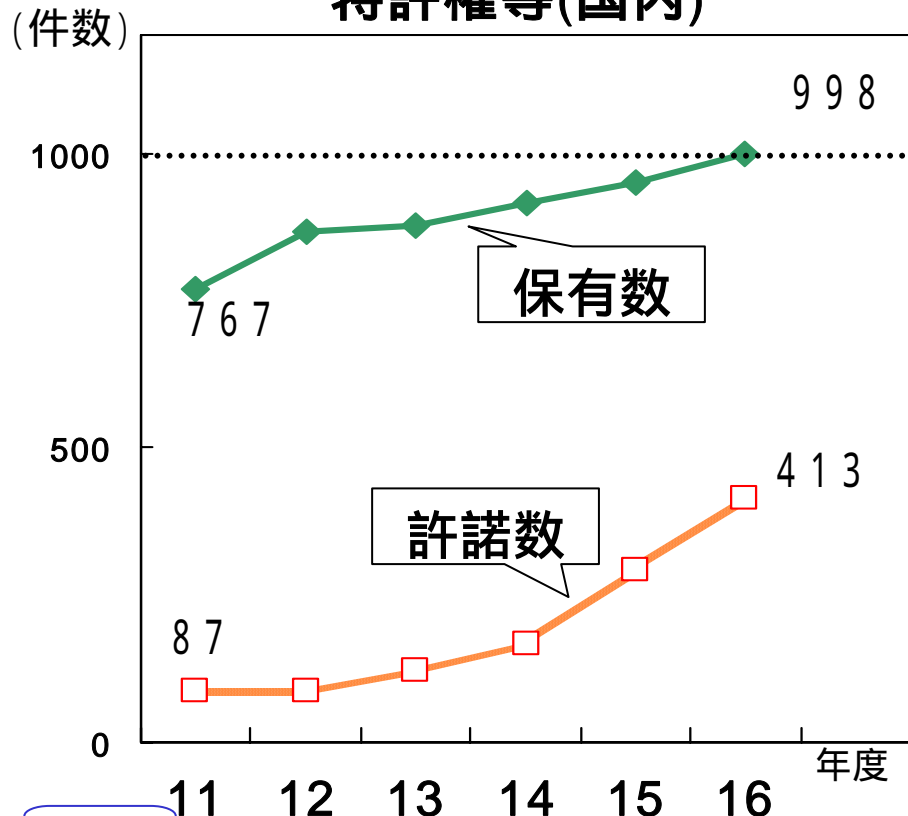
各研究機関において知的財産ポリシーを確立

農林水産研究の特質を踏まえつつ、知的創造サイクルを確立

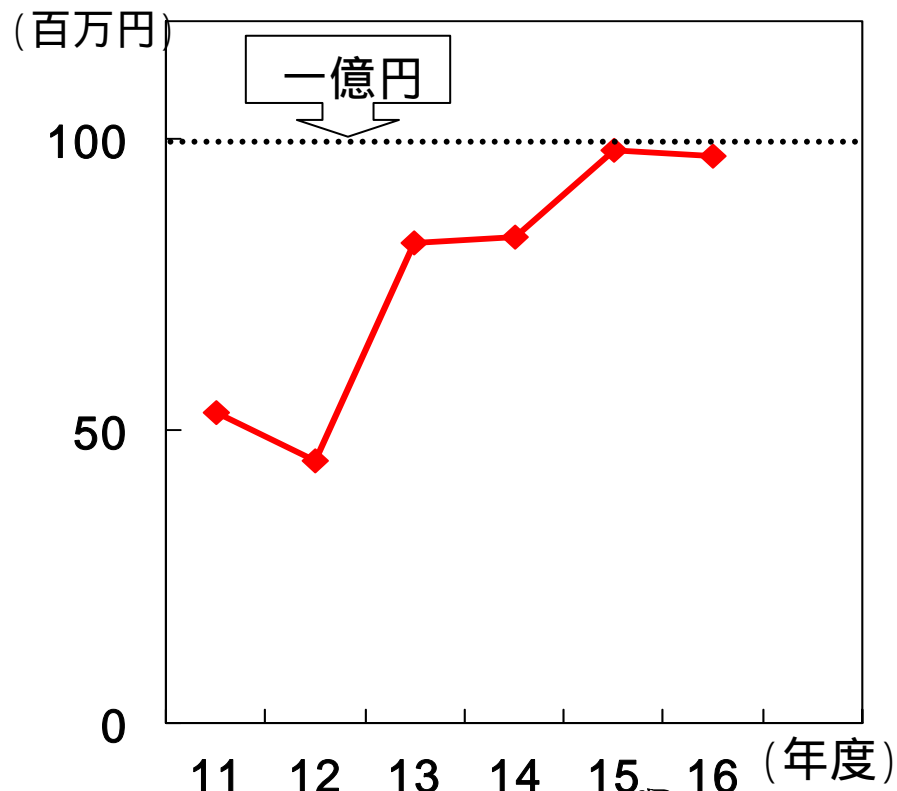
( 農林水産研究に関する施策 4. 知的財産の創造、確保及び活用)

# 農林水産省関係試験研究機関の知的財産権について

## 特許権等(国内)



## 特許権の許諾料収入の状況

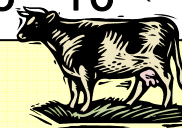


例えば

- ・ γ-アミノ酪酸 (GABA) を富化した食品素材
- ・ 結晶性絹超微粉末を含有する化粧品

・ 牛ワクチンの製造法

- ・ 抗アレルギー成分を含有する機能性飲食品

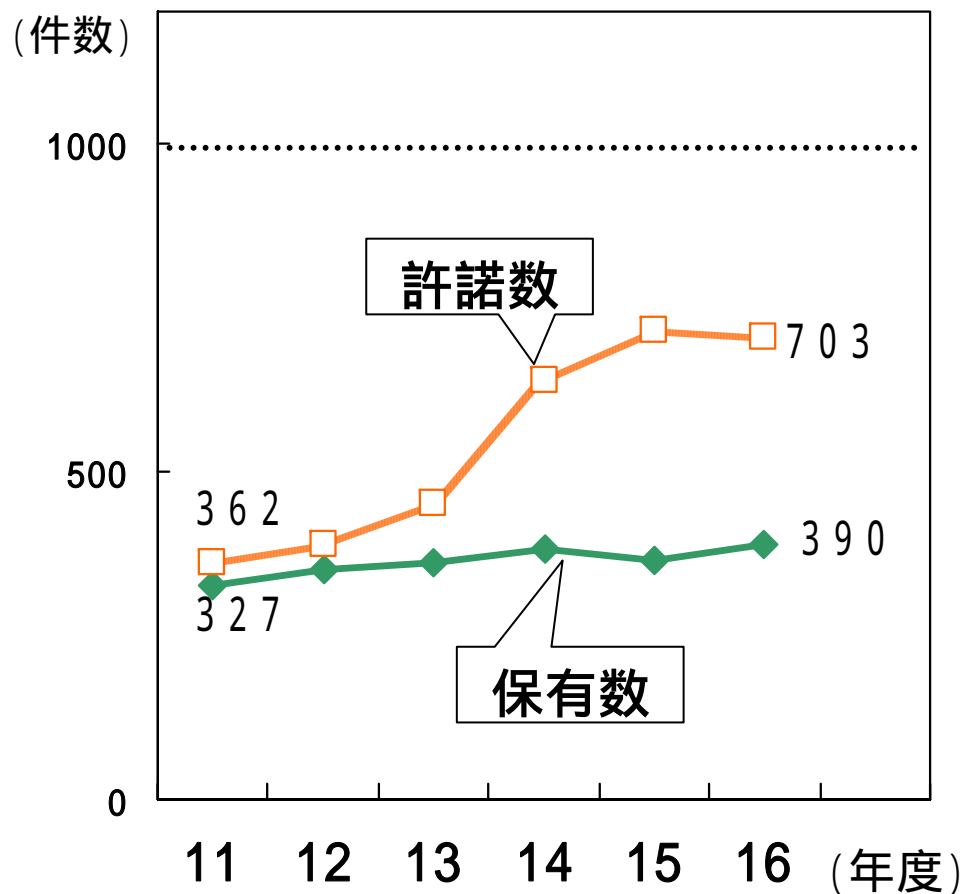


注: 1 各年度末時点のもの。許諾件数は、各年度末時点において有効な許諾契約件数である。

2 特許権等とは、特許権、実用新案権、商標権を指す

3 生物系特定産業技術研究支援センター保有分を除く

## 品種登録・育成者権(国内)



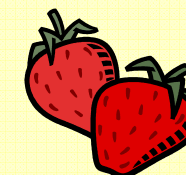
キヌヒカリ(水稻)



きたあかり(馬鈴薯)



さちのか(イチゴ)



べにふうき(茶葉)



注：各年度末時点のもの。許諾件数は、各年度末時点において有効な許諾契約件数である。

# 農林水産大臣認定TLO

産業界(製品化・実用化)

特許の使用契約

実施料(売上げの一部など)

農林水産大臣認定TLO(技術移転機関) *AFFTIS* *ア化'*

委託契約

農林水産省関係 試験研究機関

土木

バイオ

化学

動物

食品

機械・装置

昆虫

研究者  
約3000名

農業・生物系特定産業技術研究機構  
農業生物資源研究所  
農業環境技術研究所  
農業工学研究所  
食品総合研究所

国際農林水産業研究センター  
森林総合研究所  
水産総合研究センター  
家畜改良センター  
水産大学校

# 農林水産大臣認定TLO 活動実績

	15年度 (6月~)	16年度	17年度 (~12月)
許諾 特許数	5	62	51



## < 実用化されたシーズ例 >



TLO



例えば

- ・ 脂肪細胞における脂肪分解を促進するために有効な量のイソフラボン類を含有させた食品組成物
- ・ 生体膜に特異的に作用する新規ペプチド
- ・ 地下灌漑システム

# 産学官連携を通じた知的財産の有効活用

## 全国レベル

### 趣旨

大学、独法、関連企業などが一堂に会し、技術移転、事業化、市場開拓などのビジネスチャンスを作るための交流の場として、今年度が2回目の開催（主催：農林水産省）

出展者数：88団体（昨年：59団体）  
民間企業36、大学22、都道府県6、その他12、  
主催者・共催者（農水省、独法等）12

参加者：5,000名超（昨年：約3,100名）  
一般来場者：約3,400名、マスコミ：約100名、  
出展者：約1,500名が参加

東京国際フォーラムにて、  
昨年の約1.5倍の出展者  
と参加者を集め、盛大に  
開催された



## 地域レベル

昭和59年から、地方農政局、地域農業研究センターを中心に、各地域における産・学・官の連携の場を設置。

地域	地域組織等の名称	17年度シンポジウム参加実績
北海道	グリーンテクノバンク (NPO法人)	11月18・19日 約150名
東北	東北地域農林水産・食品ハイク研究 会	12月1日 約200名
関東	関東食料産業・先端技術クラスター連 絡協議会	11月11日 約500名
北陸	はっと！net	11月18・19日 約110名
東海	東海地域生物系先端技術研究会 (NPO法人)	12月7日 約240名
近畿	近畿地域農林水産・食品バイオテク ロジー等先端技術研究推進会議 (平成18年度NPO法人化予定)	12月16日 約440名
中国四国	中国四国地域農林水産・食品産業先 進技術研究協議会	12月6日 約130名
九州 沖縄	九州バイオテクノロジー研究会	11月16日 約400名